



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



2021年1月6日 発行 第25号

ワシントン日本語学校
校長 神戸 昭夫

[ワシントン日本語学校事務局]
HOT LINE (301)962-7415
TEL (301)962-7410
FAX (301)962-7411

小3・6

実力テスト結果保護者説明会を実施

10/30

今回実施された実力テストは、昨年度発表された「国語力向上ベーシックプラン」を受けて、本年度より毎年実施されます。以下の3つの目的をもって行われました。

- ① 国語の授業で学習した内容がどの程度身についているかを生徒・保護者が確認し、今後の学習に生かす。
- ② 今後の進路選択・決定の材料とする。
- ③ 本校生徒の学力状況やその推移を確認する資料とし、指導に生かす。

小学部3年は、学習成果アセスメントとしての位置づけで正解率70%以上をめざして、小学部6年は、出席率60%、課題提出率80%とともに、実力テスト50%を到達目標としています。

テストは両学年とも表裏1枚のテストで、読み取り、漢字の読み書き、言葉のきまりの定着を確認するものでした。

結果は、全体の傾向として、両学年とも読み取りが大変よくできていました。これは、昨年度よりオンライン授業において、学習計画表を活用し、保護者の皆様に、家庭は第2の学校、保護者は第2の担任としてお子様の横についてのご支援をいただいたことによるものと考えています。また、言葉のきまりについてもほとんど理解できていたと思います。

課題は漢字の読み書きでした。漢字の読みよりも書くことが難しく、3年生よりも6年生の方が、漢字の書き取りについて、誤答よりも無答が増えていました。

以上のような成果と課題を受け、次のようなことを提案しました。

- ① 学習計画表のさらなる活用
- ② 教科書のさらなる活用（目次の中の話す・書く・聞く・読むの領域で目指すことの確認、各単元の学習の目標の確認）
- ③ 副教材「漢字の学習」の活用、漢字学習をまず読むから始める、漢字を使う機会を増やす。

学校としても可能な対策を検討していきます。

各学年の漢字一覧用（読む・書く・漸次書く）

	学年別漢字 配当表	読む	書く	漸次 書く	常用 漢字	読む	書く
小1	80	80		80			
小2	160	160	80	160			
小3	200	440	240	200			
小4	202	642	440	202			
小5	193	835	642	193			
小6	191	1026	835	191			
中1		1026	900		300 ～ 400	300 ～ 400	
中2		1026	1026		350 ～ 450	650 ～ 850	
中3		使い 慣れ る	使い 慣れ る			大体	

①これからも

- 学習計画表の活用
- 共働学習の推進

②今日から

- 「かんじスキル」「漢字の学習」の活用
- 今日から漢字毎日1ページ？
- 提案「まず、読みから始めませんか？」

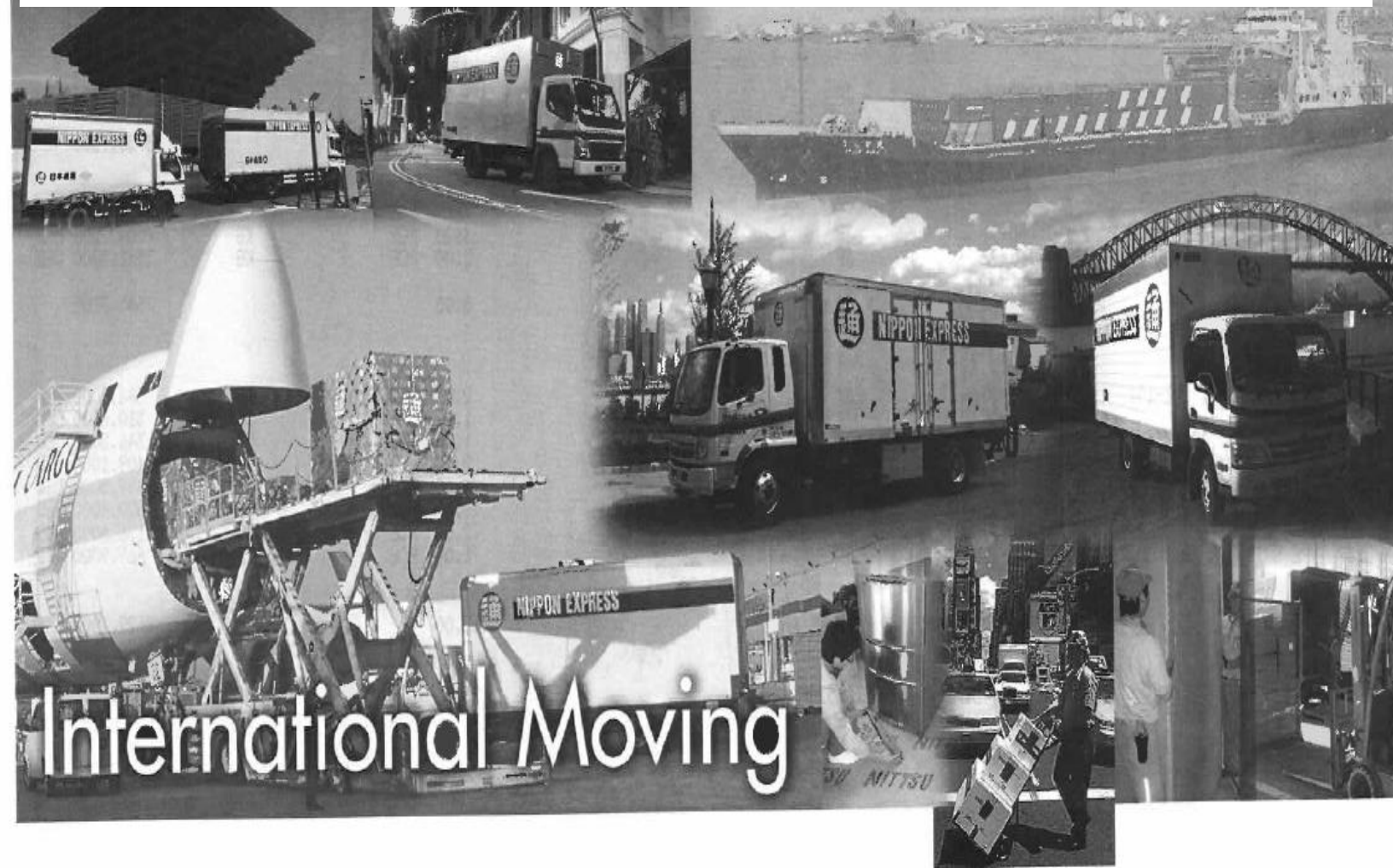
・書けないけど読める。読めないのに書けるわけがない。

- ・やはり読書
- ・漢字を使う機会を増やし、認め、励ます

③学校ができることを検討

- ・可能なら漢字学習の時間の確保

帰国の際の引越しは、日通にお任せ下さい

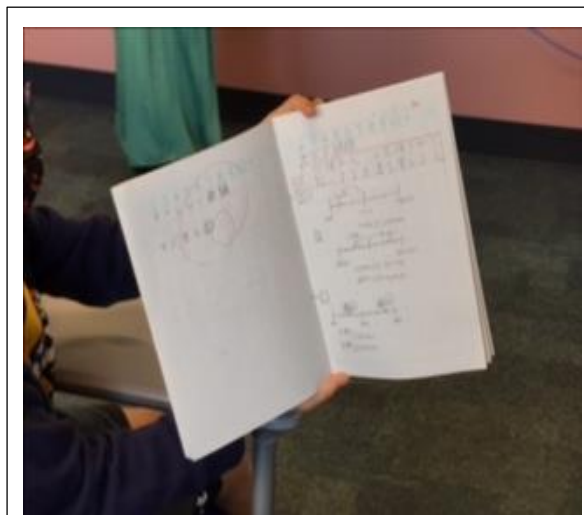
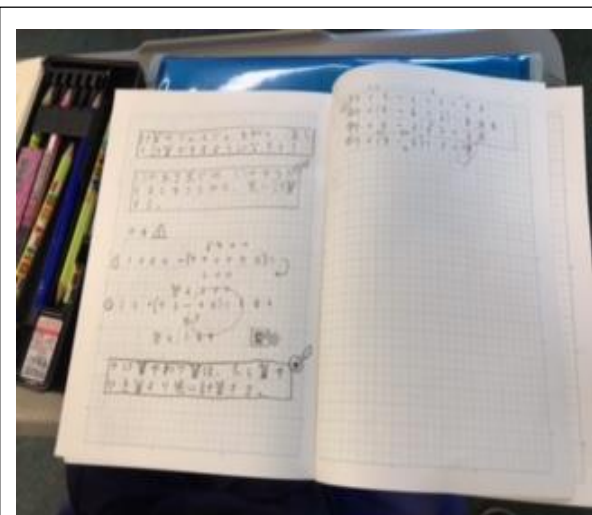
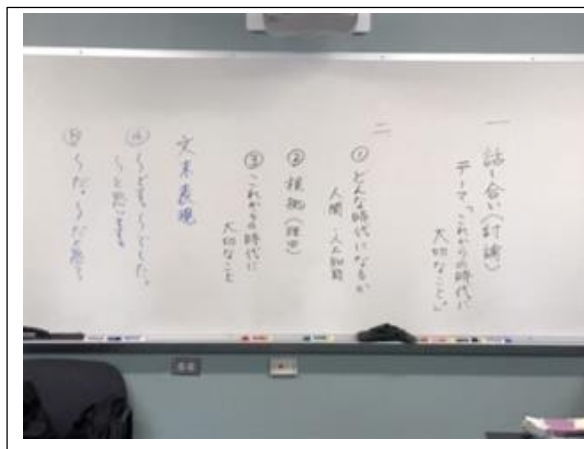
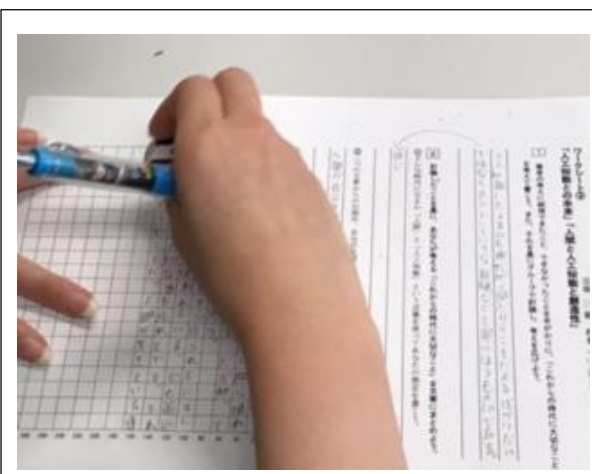
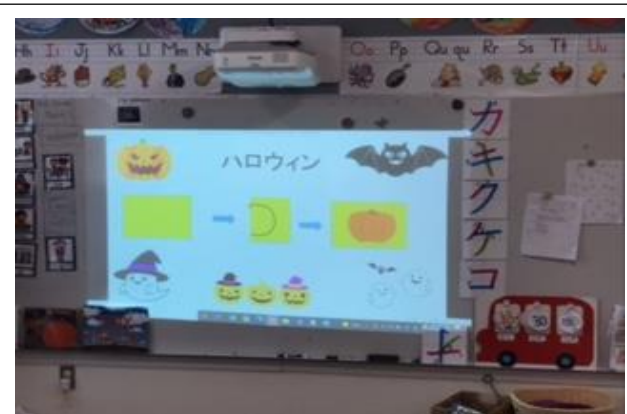
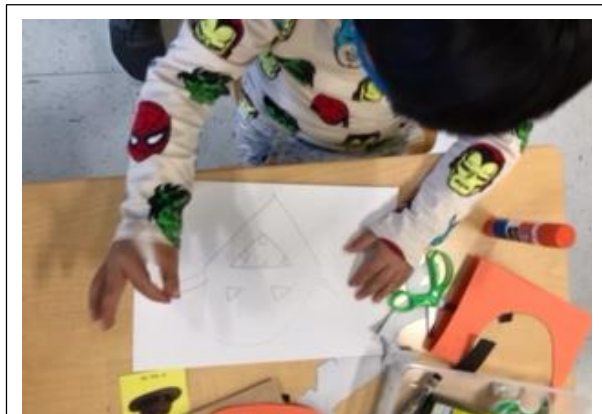


海外からの帰国にピッタリな引越しプラン

スタンダードサービス: 梱包から大型家具の輸送までお客様のニーズにお応えします。

スモールパッケージサービス: お荷物の少ない方にお勧めのお得なパッケージサービスです。

お申し込み、お問い合わせは米国日本通運ワシントン支店まで



ハロウィン
(幼稚園)

発表（小4←中1→）

書く(中3)

教室を訪問して

／
ト
（小
4
）